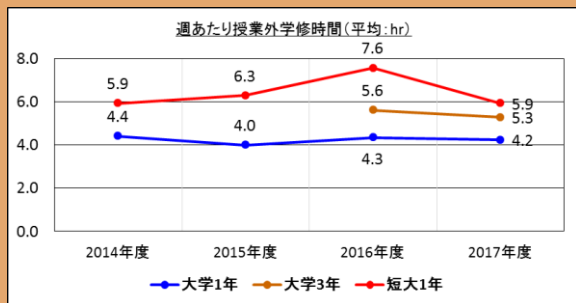


授業外学修時間の推移 ～学生調査の過年度結果より～



本学では、平成26年度より大学1年生、短大1年生を対象とした1年生調査、平成28年度より大学3年生を対象とした上級生調査を毎年11月に実施しています。1年生調査と上級生調査をまとめて、学生調査とよびます。

学生の授業外学修時間の確保が課題となるなか、学生調査では「週あたり授業外学修時間」の実態を問う項目が含まれています。

グラフには、平成26年度(2014年度)以降の「週あたり授業外学修時間」の平均値の推移を示しました。平成29年度(2017年度)の本学大学1年生の場合、週あたり4.2時間(1日にならすと40分弱)の学修時間で、年度をさかのぼると学生調査開始時からほとんど変わっていないことがわかります。アクティブラーニングの手法を取り入れた授業レベルでの工夫や、ラーニングコモンズスペースの拡大による学修環境の改善など、進行中のものを含め様々な取組みが、今後学生の授業外学修にどんな影響を及ぼすか引き続き調査を継続してまいります。

平成30年度学生調査を実施します。

スケジュール

調査実施にご協力いただく先生方、関係者の方々は、右スケジュールにご注意いただき、対応にあたっていただきますよう、お願いいたします。(宮東城)

10月26日	調査に協力いただく授業をご担当の先生方へ、調査用マークシート等書類一式をCREDより配布
11月1日～17日	学生調査の実施
12月～1月	集計、分析
2月以降	随時報告(分析依頼も受け付けます。)

担当・連絡先

学修・教育開発センター 宮ノ矢野 (1033/1034) 連絡先: cred@tokyo-kasei.ac.jp

学生FDサミットに参加しました。

8月28、29日に京都光華女子大学にて開催された学生FDサミットに5名の学生CREDメンバーが参加しました。

学生FDサミットは、全国の学生FD団体、教職員が一同に会し、意見交換を行う場で、参加した学生からは「視野が広がった」「今まで『こうだったらいいのに』と思うことがあっても教職員に伝えることをしなかったがまずは私から教職員の方を知ろうと積極的に行動していきたい」などの感想が寄せられ、充実した二日間となりました。(矢野穂)



<CRED貸出書籍の紹介>

- 小林昭文(2016)『図解 アクティブラーニングがよくわかる本』
講談社 1300円(税別)
- 小林昭文(2017)『図解 アクティブラーニングができる本』
講談社 1300円(税別)



平成31年度から、板橋キャンパスでは大規模なカリキュラム改革が行われます。そして、CAP44と100分授業が実施されます。そのため授業内容だけでなく、授業方法も新たなものにしていく必要があります。そのヒントの1つにアクティブラーニングがあります。すでにアクティブラーニングを実施中の先生方には再点検のために、これからアクティブラーニングを始めようとする先生方は準備マニュアルとして、この2冊はいかがでしょうか。読み易く、分かり易く書かれています。どうぞCREDをお訪ねいただき、お手に取ってみてください。(平山祐一郎)

今年度のリサーチウィークス についてお知らせします。

今年度は下記の実施方針のもと実施いたします。

<実施方針>

- ・教職員にとって比較的時間をとりやすいと考えられる2週間にイベントを集中させ、多数の参加を求める。
- ・オープニングレクチャー、FDフォーラム、教員研究成果発表会、学長裁量費成果発表会について、開催日の間隔を空ける。

<日程>

・リサーチウィークス期間

2月14日(木)～2月28日(木)

・ポスターセッション

2月14日(木)～2月28日(木)

・オープニングレクチャー

2月18日(月)13:00～

※15:00～全学部合同教授会

・FDフォーラム

2月20日(水)13:00～

・教員研究成果発表会

2月22日(金)9:00～(予定)

・学長裁量費成果発表会

2月25日(月)13:00～

[ポスターセッション]および[教育・研究活動成果に関するイベント]の参加申込み開始は11月中旬を予定しています。(矢野穂)

教育改革推進(学長裁量) 経費予算※による研究・開発 シリーズを実施しています。

平成31年度からのキャップ制、100分授業などの転換を前に、多くの学科や先生方に参考にしていただきたい取り組みを選び、研究・開発に当たられた先生方に研究内容をご紹介いただくシリーズを、これまでに2回実施いたしました。

<7月30日(月)15:00～16:00>

・「効果的かつ効率的な反転授業法開発の取り組み」
三浦正江先生(心理カウンセリング学科)

<10月4日(木)15:30～16:30>

・「学習者中心アプローチに則る講義科目における効果的な双方向学習課題の開発」
並木有希先生(英語コミュニケーション学科)

いずれも、参加者の満足度の非常に高い研修となりました。詳細は各種会議の場で報告させていただきます。

次回第3回は、栄養科の重村泰毅先生をお招きし、「manabaを通じたe-learningの推進について」をテーマにお話しいただきます。ぜひご参加ください。

【第3回詳細】

日時: 2018年11月8日(木)15:00～16:00

場所: 板橋図書館1F Lプラザ

申し込み方法: cred@tokyo-kasei.ac.jp宛てに件名: 「11/8 研修参加の件」とご記入の上、氏名、所属をメールください。(矢野穂)

※「本学の教育をさらに充実・向上させるために教育方法や教材の研究・開発に対して必要な費用全般を補助する」ことを目的とした予算。